

局長だより 3月

◇常任委員長だより 図書 啓展

リズム漢字で学年の漢字まどめをしています。たのしいです。

新学期準備も開始です。学力研の春の企画を紹介します。お誘いあわせの上、ぜひご参加ください。

●春の京都山城学級づくり講座

四月一日(日)京田辺C I Kビル・久保、宮川、岡本がお世話になります。奈良や京都の先生方、ぜひ！

●学級びらき講座…三月三十一日(土)三田市協働センター岡ほか、四月七日(土)エルおおさか・岡本、川崎、金井、荒井。

四月七日(土)神戸市勤労会館・岡、門脇。四月八日(日)レディア春日井・深沢英雄で盛り上げます。また、学力研の「先生のための学校」もさらにパワーアップ！

●「若い先生のための学校」始動！

三月二十五日(日)・四月二十八日(土)エルおおさかです。

●名古屋にも「先生のための学校」

が開校！五月十三日(日)・六月十日(日)・七月八日(日)八月二十日(日)です。(こころ)期待！

◇組織局だより 岡本 美穂

先週学年閉鎖となりました。子どもがいけない学校というのは、なんとも寂しく気が抜けてしまうものですね。そこで掃除時間にいつも子ども達が掃除しているトイレ掃除を代わりに行いました。すると手作りの箱が置いてあることに気が付きました。よく見ると子どもお手製の用具入れでした。褒められなくても、評価されなくても大事だと思うことを自ら考え行動に移していたのだと思いが熱くなりました。

三月は、このようなちよつとした子どもの勇気や成長を見つけられる月間にしたいなと子どもを通じて感じました。3月の子どもの姿は、自分のこだわりが見えてくるはずですよ。

3月から「若い先生のための学校」という新しい取り組みも始まります。20名限定講座です。すでにご予約がうまってきています。お早めにお申込みください。

◇千人プロジェクトだより 岡篤

●底上げの実践哲学

教育行政の動きを大きな流れとしてとらえると、上位層を伸ばすことに力を注いでいることが読み取れます。

このことを全否定するつもりはありません。エリートだからこそできることもある。あこがれの対象があるからこそ湧いてくる力もあります。

ただ、現場の教師としては上位層だけを伸ばせばよいというわけにはいきません。二極化が進み、学級が不安定になってしまいうからです。

そんな今こそ、底上げの視点が重要ですよ。

「実践哲学ワークショップ」は、こんなことを考え、学級経営に生かせる実践哲学を、参加者それぞれがつくっていく中堅・ベテラン向きの会です。

◇学力研最新情報 岸本 ひとみ
●住所変更の連絡は事務局にも

春は学校のお正月。新しい仕事に就かれる方も多いと思います。毎年事務局を悩ませるのが、会員さんの転居先がわからなくなつて、学力研の広場が返送されてしまうことです。

郵便局に届けを出される時に、事務局宛にfaxでも、メールでもかまいませんので、新しい住所をお知らせ下さい。郵送より割安なDM便を使っているため、転居されるとたちまち届かなくなってしまうのです。

新しい職場、初めての子どもたちにも、褒める要素を意図的に作り出すことのできる学力研の実践が必要です。また、読み書き計算という、スタンダードを大切にしたい実践だからこそ、どの学校、保護者にも必ず受け入れられるのです。保護者や同僚との信頼関係を築くにも、ひと役買うはずですよ。連絡は下記まで。よろしくお願ひします。